

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 4年 5月 16日

学校名 岡保小学校

校長氏名 松宮 龍栄

1 今年度の目標(学校の約束)

- ①岡保地区の環境、地球環境について学習します。
- ②水や電気、紙などの資源を大切に使います。
- ③ごみの分別をしっかりとし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

① 環境に関する学習

- ・SDGsについて学び、岡保地区の取組案を作成する中で、岡保地区の環境について調べ、環境保全への興味を高める。
- ・清掃センター・浄水場・浄化センターなどの施設見学を行う。

② 節水・節電、紙の再利用の取組

- ・水道やスイッチにポスターやラベルを貼り、節水・節電を呼びかけたり、反古紙を利用して、ごみとして捨てる紙の量を減らしたりする。

③地域と連携してごみの分別回収・清掃活動

- ・リサイクルボックスを用意し、ごみの減量を図る。
- ・古紙やアルミ缶などの回収をPTA や地域と連携して行う。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

- ①について、様々な施設を見学する中で、現在の生活を見直し、持続可能な未来を創造する力を養う。(批判・未来)

福井市学校版環境 I S O 実施報告書

学校名

岡保小学校



1 今年度の目標（学校の約束）

- ①岡保地区の環境、地球環境について学習します。
- ②水や電気、紙などの資源を大切に使います。
- ③ごみの分別をしっかりとし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

① 環境学習

- ・4年生が社会科の時間に、クリーンセンターの訪問を行った。ごみの焼却処理を見学するとともに、ごみが正しく分別されずに捨てられているという現状を知った。また、環境のためにもごみの分別が大切であることを学んだ。



- ・5年生が総合的な学習の時間に、地域学習の一つとして「岡の泉」

という地下水の泉の水質調査を行った。COD（化学的酸素要求

量）、鉄分、亜硝酸、全硬度、pHの値を調べ、どの項目も基準値

以下できれいな水だということを改めて学んだ。



②水や電気、紙などの資源に対する取組み

- ・6年生の総合的な学習の時間に、節水や節電などについて調べ、資源の大切さを学んだ。校内にポスターを掲示し、蛇口のチェックを行ったり、教室の電気の消し忘れがないかのチェックを行った。



③地域と連携したごみの分別回収

・古紙やアルミ缶などの回収を PTA や地域と連携して6月と11月に
行った。



★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①について、様々な施設を見学する中で、現在の生活を見直し、持続可能な未来を想像する力を養うことができた。（批判・未来）

3
見
直
し

【具体的効果】

- ・総合の時間や生活科の時間に地域の環境について学習することにより、児童の中に環境を大切にしようとする意識が高まった。
- ・環境教育と総合的な学習や理科、社会科の授業を教科横断的に扱うことで、理解が深まり、自然環境を守っていこうとする意識を高めることができた。
- ・コロナウイルスの影響もあったが、出来る範囲で様々な体験ができた。

【改善点】

- ・コロナウイルスの影響もあって難しい面もあるが、全校への発信に留まらず、地域への呼びかけや地域と連携する活動を行いたい。
- ・児童自らが環境のために発想する活動を全校で考えて取り組みたい。